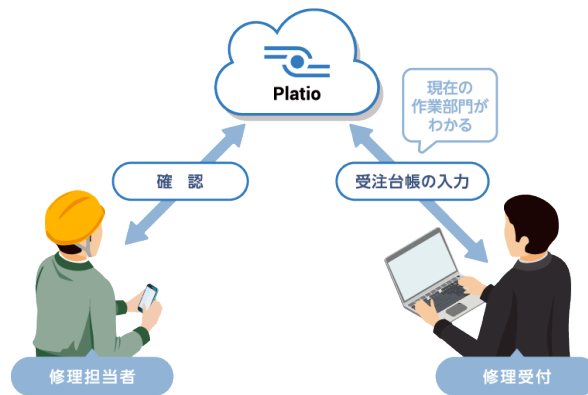


# 修理作業報告（汎用）

製造業などにおいてサポート部門で受け付けた製品修理を行程ごとに修理状況を記録・管理するテンプレートです。

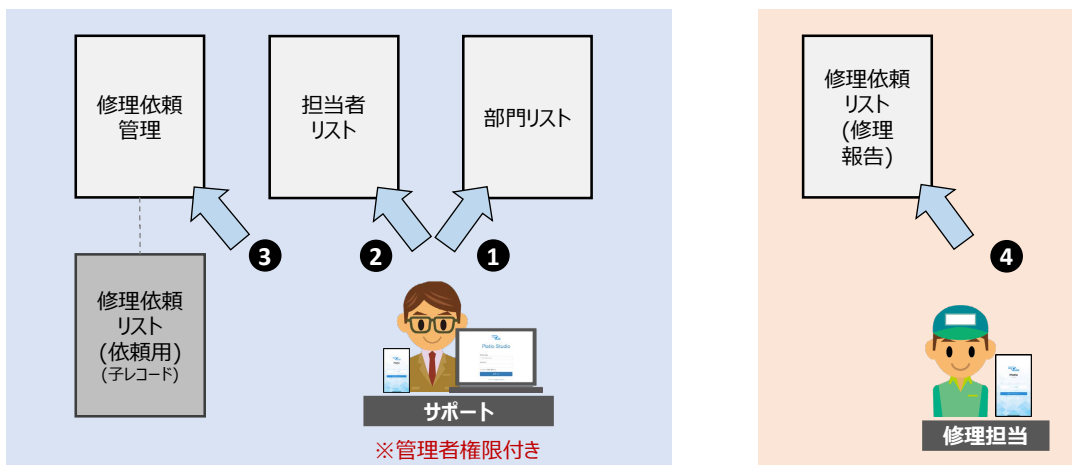
製品サポート部門などで受けた問い合わせを記録し、必要な修理作業を判断、修理部門の情報を登録します。修理部門では、必要に応じて転送し、修理が完了したらサポート部門に返送します。製品サポート部門では、受け付けた修理品が現在どこで作業が行われているか確認することができます。



## 利用の流れ

1. サポート部門は“部門リスト” ミニアプリに部門の情報を登録します。
2. “担当者リスト” ミニアプリに修理担当者の情報（部門、氏名、ユーザーアカウント）を登録します。
3. 製品の修理を受け付けする際、サポート担当者は“修理依頼管理” ミニアプリに修理品名と修理IDを記入し保存します。保存後、サポートが登録された内容を確認して、修理依頼リストフィールド経由で修理依頼内容を登録し、修理担当者にアサインします。
4. 修理担当者は“修理依頼リスト（修理報告）” ミニアプリに修理の進捗（修理受領、作業内容、作業状況の写真、作業終了日）を登録します。

## プレートテンプレートの構成



使い方に進む前に、まずは…修理作業報告（汎用）プレートテンプレートをデプロイしましょう！

※プレートテンプレートのデプロイについては[スタートアップガイドのP13~P16](#)を参照してください

# 使い方

## 1. デプロイしたプレートテンプレートにログインします

Data Console

 supportdesk1	サポート (管理者)
 repair1	修理担当

修理作業報告（汎用）のテンプレートには2つのサンプルユーザーが付属しています。まず始めに**Data Console**に管理者権限の **supportdesk1** でログインします。

## 2. 部門の情報を登録します

Data Console

名前	インポートできるCSVファイルの例
修理依頼管理	部門, 詳細, 部門が担当する修理カテゴリ
修理依頼リスト (依頼用)	"部門A","","修理カテゴリ-A"
担当者リスト	
部門リスト	

※「部門」は必須項目  
※「部門」の値は重複を許さない

ログイン後、アクセスできるミニアプリが一覧表示されます。「**部門リスト**」をクリックします。画面の右上にある「**インポート**」をクリックします。

左記の例に合わせて、**部門リスト**のCSVを作成し、インポートします。

インポート後、Data Consoleの左上にある「**ホーム**」を選択して、ミニアプリ一覧画面に戻ります。

※Platioアプリで「**部門リスト**」ミニアプリに部門の情報を入力することもできます。

## 3. 修理担当者の情報を登録します

Data Console

名前	インポートできるCSVファイルの例
修理依頼管理	部門, 担当者氏名, ユーザー
修理依頼リスト (依頼用)	"部門A","山田","repair1"
担当者リスト	
部門リスト	

※「部門」、「ユーザー」は必須項目  
※「ユーザー」の値は重複を許さない  
※「部門」は手順2で登録した部門リストにある「部門」と一致することが必要  
※「ユーザー」は事前に手順1で追加が必要（「ユーザー」のプロファイルは「修理担当」）

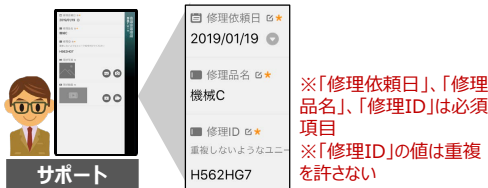
ミニアプリ一覧で「**担当者リスト**」をクリックします。画面の右上にある「**インポート**」をクリックします。

左記の例に合わせて、**修理担当者の情報**（所属部門、氏名、修理担当者ユーザーアカウント）のCSVを作成し、インポートします。

※Platioアプリで「**担当者リスト**」ミニアプリに修理担当者の情報を入力することもできます。

## 4. 製品の修理を受け付けする際、管理用のミニアプリに修理品名と修理IDを記入します

アプリ



Platioアプリにサポートの **supportdesk1** でログインします。ログイン後、「修理依頼管理」ミニアプリが表示されます。画面右下にある**+アイコン**をタップして、**修理品名**と**修理ID**を記入します。

右下にある**✓アイコン**をタップして、レコードを保存します。

## 5. 修理依頼を作成して、修理担当にアサインします

アプリ



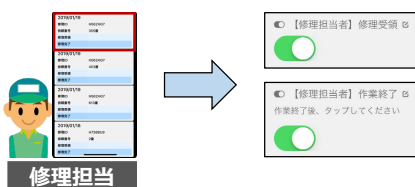
※「修理ID」、「依頼番号」、「受渡日」、「修理担当部門」、「修理担当者」、「作業依頼内容」は必須項目  
※選択する「修理担当部門」は手順3で登録した修理担当者の「部門」と一致する場合、修理担当者のリストにユーザーが表示される  
例）手順3で修理担当A氏が〇〇部門に所属していると登録する場合、手順5で〇〇部門を選択すると「修理担当者」のリストにA氏のユーザーアカウントが表示される

手順4で作成した修理依頼管理レコードを**タップ**して、修理品名と修理IDを確認します。修理依頼リストフィールドにある**アイコン**をタップします。

修理品の依頼レコードが一覧で表示されます。画面右下にある**+アイコン**をタップして、**修理依頼詳細**（依頼番号、修理担当部門、修理担当者、作業依頼内容）を登録して保存します。

## 6. アサインされた修理依頼を確認し、修理の受領や修理の終了項目を記入します

アプリ



Platioアプリに修理担当の **repair1** でログインします。「**修理依頼リスト**（修理報告）」ミニアプリが表示されます。修理依頼のレコードを**タップ**すると、作業依頼内容を確認します。

**修理作業が開始する場合**、画面右下にある**編集アイコン**をタップして、**修理受領フィールド**を“オン”にします。**作業内容**を記入して、右下にある**✓アイコン**をタップしレコードを保存します。

**修理作業が終了する場合**、画面右下にある**編集アイコン**をタップして、**作業終了フィールド**を“オン”にします。右下にある**✓アイコン**をタップしレコードを保存します。

それでは実際に使ってみましょう！